

# 平成28年7月 東京地区百貨店売上高概況

平成28年8月19日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,482億円余
2. 前年同月比	0.6% (5か月ぶりプラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-0.1%(90.2%) : 非店頭7.5%(9.8%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成28年6月対比±0店)
5. 総店舗面積	882,789㎡ (前年同月比:3.0%)
6. 総従業員数	19,048人 (前年同月比:-0.2%)
7. 3か月移動平均値	12-2月 1.7%、1-3月 0.5%、2-4月 -0.1%、 3-5月 -2.3%、4-6月 -3.1%、5-7月 -2.2%

[参考] 平成27年7月の売上高増減率は7.2%

### 【特徴】

- (1) 7月は入店客数が1.8%増と堅調に推移したことを受けて、総額0.6%増で5か月ぶりのプラスとなった。
- (2) 商品別では主要5品目のうち身のまわり品(+0.9%)が6か月ぶり、雑貨(+1.8%)が2か月ぶりにプラスに転じたほか、食料品(+0.2%)が2か月連続で前年を確保した一方、主力の衣料品が前月よりマイナス幅を大幅に縮小して改善の兆しが見られたものの、前年高伸の影響もあり1.4%減で9か月連続のマイナスに終わった。
- (3) 細分類では、紳士服(+4.9%)が5か月ぶりにプラスに転じたほか、国内・インバウンド共に好調な化粧品が13.1%増の16か月連続プラス。また、その他雑貨(+2.2%)、菓子(+3.8%)にも動きが見られたが、富裕層の消費マインド低下は継続しており、美術・宝飾・貴金属が9.7%の大幅減に終わった。また、個別商材では紳士のビジネスゾーンが好調で、ワイシャツやネクタイに伸びが見られた。
- (4) 歳時記の中元については参議院選挙、都知事選挙の影響が懸念されたものの、大きな影響は見られず堅調に推移。また、クリアランスについてはスタートが順調だったが、中盤以降は失速傾向にあり前年並みで終わっている。
- (5) 8月は16日現在約8%のマイナス。梅雨明け後の気温上昇による入店客数減と、気候と展開商材のズレによる衣料品の伸び悩みが要因と推察される。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)  
①増加した:8店、②変化なし:8店、③減少した:3店
- (3) 7月歳時記(クリアランス、夏休み)の売上(同上/有効回答数11店舗)  
①増加した:2店、②変化なし:6店、③減少した:3店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2016年07月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
<b>総 額</b>	<b>148,254,803</b>	<b>100.0</b>	<b>0.6</b>
紳士服・洋品	11,683,818	7.9	4.9
婦人服・洋品	27,743,509	18.7	-3.5
子供服・洋品	2,439,176	1.6	-1.8
その他衣料品	3,089,581	2.1	-3.8
<b>衣 料 品</b>	<b>44,956,084</b>	<b>30.3</b>	<b>-1.4</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>21,881,918</b>	<b>14.8</b>	<b>0.9</b>
化粧品	10,829,353	7.3	13.1
美術・宝飾・貴金属	8,800,580	5.9	-9.7
その他雑貨	6,154,361	4.2	2.2
<b>雑 貨</b>	<b>25,784,294</b>	<b>17.4</b>	<b>1.8</b>
家具	1,634,639	1.1	-9.8
家電	711,159	0.5	-2.6
その他家庭用品	4,332,533	2.9	-8.9
<b>家庭用品</b>	<b>6,678,331</b>	<b>4.5</b>	<b>-8.5</b>
生鮮食品	5,960,908	4.0	-2.5
菓子	10,594,685	7.1	3.8
惣菜	7,713,573	5.2	-0.6
その他食料品	14,616,093	9.9	-0.7
<b>食 料 品</b>	<b>38,885,259</b>	<b>26.2</b>	<b>0.2</b>
<b>食堂 喫茶</b>	<b>3,624,494</b>	<b>2.4</b>	<b>-0.2</b>
<b>サービス</b>	<b>2,321,872</b>	<b>1.6</b>	<b>18.6</b>
<b>そ の 他</b>	<b>4,122,551</b>	<b>2.8</b>	<b>35.0</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。  
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商品券	4,050,244 千円	-6.7
従業員数	19,048 人	-0.2
店舗面積	882,789 m <sup>2</sup>	3.0

営業日数	31.0 日	前年	31.0 日
------	--------	----	--------

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、食料品が2か月連続、身のまわり品が6か月ぶり、雑貨が2か月ぶりのプラスとなった。また、衣料品が9か月連続、家庭用品が4か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が16か月連続、菓子が2か月連続、紳士服・洋品が5か月ぶり、その他雑貨が12か月ぶりのプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>0.6</b>	<b>—</b>	<b>5か月ぶりプラス</b>
紳士服・洋品	4.9	0.4	5か月ぶりプラス
婦人服・洋品	-3.5	-0.7	9か月連続マイナス
子供服・洋品	-1.8	0.0	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-3.8	-0.1	3か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>-1.4</b>	<b>-0.4</b>	<b>9か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>0.9</b>	<b>0.1</b>	<b>6か月ぶりプラス</b>
化粧品	13.1	0.9	16か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-9.7	-0.6	5か月連続マイナス*
その他雑貨	2.2	0.1	12か月ぶりプラス*
<b>雑貨</b>	<b>1.8</b>	<b>0.3</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
家具	-9.8	-0.1	4か月連続マイナス
家電	-2.6	0.0	4か月連続マイナス
その他家庭用品	-8.9	-0.3	3か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-8.5</b>	<b>-0.4</b>	<b>4か月連続マイナス</b>
生鮮食品	-2.5	-0.1	5か月連続マイナス*
菓子	3.8	0.3	2か月連続プラス*
惣菜	-0.6	0.0	6か月ぶりマイナス*
その他食料品	-0.7	-0.1	2か月ぶりマイナス*
<b>食料品</b>	<b>0.2</b>	<b>0.1</b>	<b>2か月連続プラス</b>
食堂喫茶	-0.2	0.0	7か月連続マイナス
サービス	18.6	0.2	13か月ぶりプラス
その他	35.0	0.7	12か月連続プラス
<b>商品券</b>	<b>-6.7</b>	<b>-0.2</b>	<b>17か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>